

瓦版

vol.42

40代からの子育て

最近のお引渡し現場①

最近のお引渡し現場②

雑感

お勉強

追懐 一先師 相馬御風氏

近庄グループ
株式会社 山庄

40代からの 子育て

山内 早苗

「今日も森に行く？」またアンジュが聞いている。「行きたいの？」先生が言う。私は内心…また今日も行くの～勘弁してよ…と思いつつ先生に同意を求められれば、笑顔で同行せざるを得ない。一面の銀世界、スキー教室での事。

春休みに娘と参加したこの教室は5泊6日の合宿制度。年末の冬休みに続く第2弾である。年末は初参加で不安もあり、息子が同行してくれた。今回は娘の幼稚園時代の友人親子との参加で、4人部屋2段ベットでの生活。

年末に比べてやはり親の参加が少ない。したがって必然的に各クラスの数も減る。初心者クラスから上級まで3クラスに分かれた。もちろん私は初心者クラスであるが、このクラス生徒は2人で、私ともう一人の生徒のアンジュのみ。アンジュはインド人の父と日本人の母を持つ中学一年生。まったくの初心者で最初の頃は時間の掛かるアンジュを待つ間に多少なりとも休憩ができ、とても楽なペースで過ごせた。

ところがさすがに中学生。持久力が違うし呑み込みも早い。三日目にははすいすいと滑り出し、スピードも加速してきた。反対に三日目ともなると、私の体力がなくなり疲れも出てきた。

初日に先生がスキーを怖がるアンジュを喜ばそうと林の中に案内して下さって、新雪の中をゆっくり散歩した事が余程気に入ったらしく、日を増す毎に森に行こうと言われ気が重い。練れた上にスリルをあじわっている様子でスピードを出して、木々の間をすり抜けて行く。

反対に私はと云えば、急な方向転換で太い白樺にぶつかりそうになったり、これれば最後、柔らかい雪に深くのめりこんで、自力では起き上がれない。最終日には検定試験まで受ける羽目になり、帰京してからはひどい腰痛に2週間ほど悩まされた。

娘は反対に日々実力を付け、急な斜面も先生に続いて、スイスイと滑り抜けて行く。ともあれ今回のスキーも娘にとっては、楽しい日々であったに違いない。

スキーから帰って3日程して、今度は息子が春休みで帰って来た。直前に来日が決まった友達を含め、今回は3人の友人連れである。ガーナのIちゃん、韓国人のRちゃん、そしてアメリカはニューヨーク育ちのSちゃん。みんな息子と同じ留学生で、今回日本は初めての訪問らしい。和室に急遽三つの布団を確保する。「布団はベットではないから、必ず朝に一度上げるように。」と息子が説明

している。「食事の準備はいいから。」と友人を連れてくる度に言うけれど、やはり家庭の味も味わって欲しいと2度ほど出したら、今回のメンバーは女の子ばかりのせいかな、本当に喜ばれて私もちょっといい気分である。

行きたい野も錦市場だとか、「有次」では沢山の野菜の方押しを購入したりと、何度か共に行った京都めぐりでは、私や娘も一緒に楽しむ事ができた。息子一人が手持ち無沙汰で「こんな退屈な事、付き合いきれへんわ。」と言いつつ所在なくウロウロと付いてきていたが、イギリスでは其々にお世話になっているらしく、ほっておく訳にもいかないらしい。

息子の学校はコツコツと積み上げる授業が多く、成績は女の子の方が取りやすいのか、7人いる日本で言う“ゼミ”の中では男子は息子とあと一名で、その男性は10歳も年上で妻子持ちである。

自ずと今の大学院での友人は女子になる。娘も大きなお姉さん達に囲まれ、毎日楽しそうに、部屋にお邪魔しては遊んでもらっている。5日から学校も始まったが、朝は必ず「彩帰ってきてもおねーちゃんたちいはいはる？」と確認していた。十日間の滞在を終えて三人の友人は帰って行った。

息子の出発まであと5日。何度繰り返しても寂しい思いに、慣れというものはない。娘が主人と寝床に入り、義父もまた二階に上がり寝静まった夜更け、居間

で夕食の片付けを終えてゆっくりしていると、息子が二階から降りてくる。娘の話や知り合いの話。他愛もない事を、お茶を飲みつつ二人で話すこの時間が、私の至福の時でもある。

「彩の学校の校長は全員の生徒の名前をフルネームで覚えて、いつも声がけしはるからすごい。」と言えば、「そんなん当たり前や。プロクサム校長見てみいな。中高併せて1000人以上やで。全員覚えて、いつも声かけてはったやん。」と言う。

そういえば、息子が入学前に主人と三人で学校を見学を訪れた時も、校長自らが夏休みで鍵の掛かった部屋を、一つずつ重い鍵を開けながら案内して下さった。「ああ、そうやったなー。」こんな会話が遅くまで続く。

イギリスへ立つ日の朝は、必ず鮭のおにぎりと、あさりの味噌汁に決まっている。今年で10年間、この繰り返しをして来た。息子にとっては最後の、そして娘にとっては入学して初めての春休みが終わる。

ご希望のお客様は!!

デザイン無料キャンペーン及び設計・現地見学会 ご希望の方は下記アンケートにお答え頂いた上、FAXにてご返送下さい。素敵なプレゼントと共にご案内申し上げます。

氏名:

住所:

TEL:

FAX:

ご希望の内容

- ①設計・デザイン無料キャンペーン
 ②新築物件現地見学会

amasyo
株式会社 山庄
TEL:075-813-5800(代)
FAX:075-811-5550

ほんの一例ですが… 最近のお引渡し現場 ①

●Nマンション
RC構造 4階建 454.84㎡

敷地面積に近い建物で、近隣の皆様にご迷惑をおかけする覚悟で現場着工しました。しかし、近隣の皆様と話し合い、ご協力いただいで完成予想図に近い建物が完成しました。お施主様にも喜んでいただき、とても嬉しいです。 現場監督 川嶋克文



新築工事

Nマンション新築工事

平成19年3月末引渡し
場所：京都市西京区

最近のお引渡し現場 ②

年中無休 草津駅前 奥田歯科

JR草津駅東口さんさん通り徒歩3分

077-566-3462

年中無休・夜9時まで診療



日曜・祝日も診療

平日 午前 9:00~13:30

午後 15:00~21:00

日曜・祝日 9:00~16:00

※夜9時以降の診療をご希望の方はご相談下さい。

新築工事

奥田歯科クリニック

平成19年3月引渡し
場所：滋賀県草津市

★ アンケートにお答えいただいた方には、この情報誌を毎月郵送致します。

氏名

性別

生年月日

住所

TEL

FAX

メールアドレス

職業

★ 今後、あなたの知り得たい情報は何ですか？

- 1.建築(住宅)に関する情報
 2.建築(インテリアデザイン)に関する情報
 3.外食に関する情報
 ・和食
 ・洋食
 ・中華
 ・その他()
 4.文化、歴史に関する情報
 5.その他
()

amasyo
株式会社 山庄
TEL:075-813-5800(代)
FAX:075-811-5550

瓦版

企画及び発行所

近庄グループ
株式会社 山庄

〒604-8811

京都市中京区壬生賀陽御所町77-1 山庄ビル2F

TEL 075-813-5800

FAX 075-811-5550

E-mail office@yamasyo.net

URL http://www.yamasyo.net

雑感

山内 庄一郎

娘が持っている国語辞典。調べたい言葉が少ないとのことで、語数のより多い辞書を買うべく本屋へ行き、またぞろ乱読症候群が発病。書棚を巡って手に取ったのが「世界の日本人ジョーク集」（早坂 隆著 中公新書）。余りの面白さに一気に読んでしまいました。その中から幾つかを紹介します。

- 技術者の違い**

日本人とロシア人の技術者が、クルマの気密性について話し合っていた。日本人技術者「わが国では気密性を試すには、猫を一晩クルマの中に入れておきます。そして次の日に、猫が窒息死していたら気密性は十分だと判断します。」ロシア人技術者「わが国でも、気密性を試すためには、猫を一晩クルマの中に入れておきます。そして次の日に猫がクルマの中にいれば気密性は十分だと判断します。」

- 強 盗**

ある外国人が東京の喫茶店でコーヒーを頼んだ。すると一杯が10ドル近くするという。たったコーヒー一杯で？彼は驚いてこう呟



「人生一生勉強」と言います。それも偉大な人になればなるほどそういうことを言われるのが常です。そしてそれを聞いて勉強不足の私などは落ち込んでいく訳です。お恥ずかしい話ですが、学生時代に全くと言っていいほど「勉強」に縁のなかった私などはこの年齢になってやっとその大切さに気がき、慌てて追いつこうとドタバタしているのが現状です。

が、そんなドタバタの中でひとつ、凄く強烈に感じた事があります。それは、勉強していく事の大切さを感じ行動し始めた事も大切ですが、行動しようと決心した最初の気持ちが一番大きく、自分の中でいつまでも残っているということです。いわゆる「初心」というヤツですね。

そしてこの「初心」というヤツは自分だけに限らず、周囲の人間までも影響していき、エネルギーを撒き散らすということを日々感じております。

最近も、こんな「初心」に因んだある出来事がありました。現在も継続中ですが、当社の社員さん、既に40歳を過ぎています。本人のプライバシーの為に詳しい事は申せませんが、彼は最近当社に入社するまで、かなり（凄く）紆余曲折の人生を歩んできていました。私から見ても「どうにかならんのか」と思う状態だったのです。

いた。「普通の国の強盗は頭にストックिंगをしているが、日本の強盗は足にストックキングをしている。」

- それぞれの幸福**

イタリア人の幸福とは、愛人とパスタを食べながらサッカーを見ている時。イギリス人の幸福とは、うまいブラックジョークが決まった時。ドイツ人の幸福とは、計画通りに物事が運んだ時。スペイン人の幸福とは、美味しい物を食べてのんびり昼寝している時。日本人の幸福とは、食事をさっさと終えて再び働き始めた時。ロシア人の幸福とは、部屋に踏み込んできた秘密警察が人違いに気付いて帰っていった時。

- 集団行動**

ある豪華客船が航海の最中に沈みだした。船長は乗客たちに速やかに船から脱出して海に飛び込むように指示しなければならなかった。船長はそれぞれの外国人乗客にこう言った。アメリカ人には「飛び込めばあなたは英雄ですよ。」イギリス人には「飛び込めばあなたは紳士です。」ドイツ人には「飛び込むのがこの船の規則となっています。」イタリア人には「飛び込むと女性にもてますよ。」フランス人には「飛び込まないでください。」日本人には「みんな飛び込んでますよ。」

- 捨てたもの**

アメリカ人、日本人、イラク人が大型客船で船旅をしていた。しかし、ある時、航行していた船が突然浸水し始めた。多くの荷

物が積まれていたので、三人は邪魔なものを捨てなければならなくなった。まず、アメリカ人が荷物を捨てた。それはクルマだった。次に、日本人が荷物を捨てた。それはカメラだった。最後にイラク人が捨てたのはアメリカ人だった。

- 至難の業**
国際会議において有能な議長とはどういう者か。それはインド人を黙らせ、日本人を喋らせる者である。

- 抗 議**
ある時アメリカの新聞が「日本人は表現が曖昧で、何を言いたいのかハッキリしない。日本人は堂々と主張できない民族だ。」という題名で特集を組んだ。数日後、日本人らしい人物からの投書があった。それにはこう書かれていた。先日の貴紙の記事についてですが、より幅広い議論を検討していただいた上で、前向きに善処していただければ幸いと存じますが、いかがなものでしょうか。

- ジョークと日本人**

日本人は、一つのジョークで三度も笑う。

- ジョークを聞いた時。
- そのオチの意味を教えてもらった時。
- 家に帰ってオチの意味が理解できた時。

- 幸福論**

「人生における最高の生活とは？」「アメリカで給料をもらい、イギリスの住宅に住み、中国人のコックを雇い、日本人を妻にすることさ。」「では、最低の生活とは？」

この「決心」の出来ている人から湧き上がるエネルギーには変な解説は必要ありません。言葉なくともピンピン伝わってきます。「決心」＝「初心エネルギー」なのでしょうか。彼から、改めて大切な事を勉強させて頂きました。

これを読んで頂いている方の中には誰の事を書いているのか、お察しがついておられる方も多いと思います。出来れば彼のエネルギーに触れてみてください。火傷するかもしれませんが。

この文章を書きながら何故か幼少の頃、私が怪我をした時などによく母親や先生から言われた「痛いと思うから痛いんや」という無茶な言葉を思い出しました。まんざら無茶な話でもないかなと。

確かによく「そんな事言われても私の力では出来ないものは出来ない」等と言いながら仕事している人がいるなあと。（でもよく見たらちゃんと仕事しているのに愚痴を言いながら）。

彼のようにエネルギーが爆発している時は「痛いと思うから痛いんや」「出来ないと思うから出来ないんや」「私には出来る。しなければならぬ理由がある」「何が何でもやり通す」という恐ろしく前向きな思考なのでしょうね。

私もこれを書きながら、またエネルギーが湧き上がってきたようです。毎回お伝えしていますが、今年は皆様との交流を重要視していこうと考えています。どんな事でも結構です。お感じになられた事などをメール頂ければ幸いです。よろしく願い致します。

k-miyagawa@yamasyo.net

「中国で給料をもらい、日本の住宅に住み、イギリス人のコックを雇い、アメリカ人を妻にすることさ。」

- まずい料理**
世界の三大失敗料理とは？
 - 位　香辛料を入れ忘れたインドのカレー
 - 位　ワサビを入れ忘れた日本のスシ
 - 位　イギリス料理

- ミステリー**
日本とはやはり神秘的の国である。神道の信者が約1億5千万人。仏教徒が約9千5百万人。そして「あなたの宗教は？」との質問に、約半数が「無宗教」と答える。では、日本の国民はいったい何人いるのだろうか。約4億人？そう、前述の数字から類推すれば当然そう答えるだろう。しかし、驚くなかれ日本の人口は約1億3千万人だというのである。あなたはこのミステリーを信じることができるだろうか？

この後また本屋に足を運び、買ったのが次の三冊。それぞれの一つずつ挙げます。

- 「世界のジョーク集」
おおぼともみつ著　中公新書

- あなたは誰ですか？**
某国大統領がワシントンを訪問した時、閣僚の一人が、クリントンと会う時に英語を使いなさいと進言した。“How are you?”と言えど、何か答えてくれる。そうしたら“Me too.”と言えよいい。ところが某国大統領はうっかり“Who are you?”と言っ

てしまった。驚いたクリントン大統領は、ジョークのわかる大統領にはジョークで答えなければと考えた。“I am the husband of lady Hillary.”某国大統領は“Me too.”と答えたという。

- 「英語のユーモアを磨く」
村松増美著　角川書店

- 英語が下手でも**
英語が喋れない某氏がニューヨークでアメリカ人とバーに行った時、誰かが“Scotch and soda.”と注文しました、もうひとりのアメリカ人が“Me too.”と言ったのを聞いて某氏が“Me three.”と。

- 「ユダヤ・ジョーク集」
ラビ・M・トケーヤー著　加瀬英明訳　講談社α一文庫

- 銀行の使い方**
ニューヨークの銀行に、一見してユダヤ人とわかる人物が入ってきた。彼は、貸付係は誰かと聞くと、貸付係の机まで行って座った。「何かご用でございましょうか？」と貸付係はユダヤ人の贅沢な背広や靴、ベルト、時計、カフスポタン、ネクタイピンを見て言った。「実はお金を借りたいと思っているんだが…。」「は？それで私のとこにお見えになったという訳ですね。」「貸付係と書いてあるからね。」「それでいくらぐらいご用立したらよいのでしょうか？」「1ドルだ」「1ドルですか？」「そうだ。1ドルだ。」

追　　懐

山内徳三郎

「もちろん当行では1ドル以上いくらまでも、担保さえあればお貸しすることになっておりますが…。」
「これが担保だが、どうだろうか？」
ユダヤ人は株券や国債を贅沢なカバンから取り出して、貸付係の机の上に並べた。
まあ、全部でだいたい50万ドルぐらいあるんだがな。これでいいだろうか？」
「は、もちろん結構です。しかし、1ドルですか？」「そうだ。」1ドル札が出されて、ユダヤ人が受け取った。
「では、金利は年6パーセントでございますから、6セントをお払い下さって、1年後に1ドルお返し下さればこの担保の証券類をお返しすることになっております。」
「どうもありがとう。」とユダヤ人はイディッシュ訛で言って1ドル札を財布に丁寧にしまうと銀行から出ていこうとした。
この会話を近くで聞いていた支店長は、50万ドルも持っている者がどうして1ドルを借りに来たのかと不思議に思って慌てて後を追った。「あの、失礼ですが…。」
「なんだね？」「どうしてお客様は50万ドルもお持ちなのに、1ドルだけを借りにいらしたんでしょうか？銀行では喜んで30～40万ドルはご用立て出来ますが。」
「いやいや、そんな心配はない。ただ、丁度ここへ来る前に金庫屋へ行ってみたら、金庫がみな高いので一番安い金庫を考えてみたら、1年6セントでこれだけ丈夫で立派な金庫が使わせて貰えることに気がついたのだ。」

大それた

静か

静か